

図書館ニュース

宮城県小牛田農林高等学校図書館

No.5 令和3年10月7日発行

○読書月間を実施します！！



秋といえばなにを思い浮かべますか？スポーツの秋、食欲の秋、勉強の秋・・・いろいろありますが、忘れてほしくないのが「読書の秋」です。この機会に落ち着いて読書をしませんか？

○先生たちの本棚～問題編～

「読書の秋」ということで、先生方に最近読んだ本やおすすめの本を教えてくださいました。どの本がどの先生の読んだ本なのか、考えてみてください。答えは裏面にあります。

A先生



まんがでわかる 新渡戸稲造「武士道」です。少女漫画で学ぶ、今でも通じる日本人の精神。武士道とは、より良く生きるための指針なのではないでしょうか。興味があれば原著も読んでみてください。

「まんがでわかる新渡戸稲造『武士道』 あさ出版 岬竜一郎・涼原ミハル・朝日文左著

B先生



最近は「今さら聞けないタネと品種の話 きほんの◎」「今さら聞けない農薬の話 きほんの◎」「今さら聞けない肥料の話 きほんの◎」を読みました。



「今さら聞けないタネと品種の話きほんの◎」「今さら聞けない農薬の話きほんの◎」「今さら聞けない肥料の話きほんの◎」すべて農山漁村文化協会

C先生



パウロ・コエーリョさんの『アルケミスト』という英語の本を読みました。スペインの羊飼いだっただ少年サンチャゴは、「前兆」に導かれて、ピラミッドにあるという宝物を探して旅に出ます。旅の途中の様々な経験を通して、少年は人生における大切なことを学んでいきます。世界中でベストセラーとなった小説であり、日本語版も発行されているので、ぜひ読んでみてください。

「アルケミスト 旅をした少年」
角川出版 パウロ・コエーリョ著 山川 紘矢（翻訳），

D先生

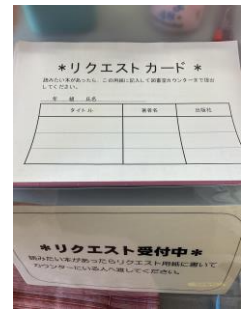


「よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑」「伝える準備」です。日々どれだけの人とどれほどの言葉を交わして生活しているでしょうか。一度放った言葉は返ってこないことが、一度放った音は返ってこない音楽と似ています。だからこそ、色々な考えや経験をもった人を相手に、自分の思いを伝えるにはどのような表現が適切か、相手を思いやって準備し、丁寧な言葉のやりとりをしたいという思いから手にした2冊です。これから人間関係がどんどん広がるばかりの高校生の皆さんに、ぜひおすすめします！

「よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑」サンマーク出版 大野萌子著
「伝える準備」ディスカヴァー・トゥエンティワン 藤井貴彦著

○先生たちの本棚～解答編～

予想はあたりましたか？本を紹介していただいた先生方に、先生方の読書生活についてインタビューをしました。ここで紹介された本について、図書館にない本でも、リクエスト可能です（用紙はカウンターにあります）→



A 先生は・・・宍戸周哉校長先生でした！

よく読むのは、エッセーや評論です。

ビートたけしさんのエッセーなどは、興味深く読みました。やはり視点が鋭くおもしろかったです。自分の興味がある分野のことがわかったり、考え方の幅が広がるので、ためになります。



B 先生は・・・五十嵐賢志先生でした！

毎年色々な形で図書券を頂くことがあります。その都度ぶらっと本屋さんに足を運び、必ず見るコーナーはスポーツと農業専門と「当店売り上げベスト10」の陳列棚です。表面で紹介した本は別冊「現代農業」を単行本化したものであり、普段教科書やネットでしか調べないものが簡単でわかりやすく、自分が？マークの付いた時に開いて、農業の復習をするのに役だっています。初めて農業をする人には知っておいてもらいたい内容です。私自身わかっているようでも、違ったことが答えだったりするときもあり、役に立っております。

C 先生は・・・鈴木拓先生でした！

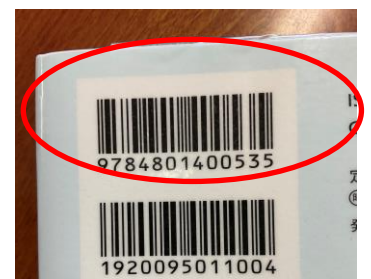
自己啓発の本をよく読んでいます。教員として、人として、大切な考え方を学ぶことができているように思います。また、中学生の頃に石田衣良さんの小説を読んで以来、彼の作品をたくさん読んでいます。男性の作家が書いているとは思えないほど女性の心情の描写が繊細で、いつも感心させられています。

D 先生は・・・田中奏美先生でした！

今回、どのような時に読書をしているか改めて考えると、悩みや疑問、納得できないことや不安なことなどがあるときに、解決策やヒントを得たくて本を手にはしていると気付きました。同時に、担当教科である「音楽」という分野と同様、「読書」もまた心の拠り所となる存在であると実感しています。「読書の秋」がやってきました。心の栄養を蓄えてみてはいかがでしょうか。

○「読書管理アプリ」について

みなさんは読んだ本の内容をどうやって整理していますか？読んだ＆読んでみたい本を簡単に整理できるアプリがあります。本のバーコードを読み取って簡単にリストにしたり、興味・関心のある本を探したりすることができます。特に利用者が多いアプリは、「ブックログ」と「読書メーター」です。気になったら調べてみましょう！



この本はなんでしょう？アプリで読み取っててくださいね。
(この本は図書室にあります)